

里田さんのグループでは、徳島の方言について調べたことを発表することになりました。里田さんたちが調べた次の【資料1】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】

徳島の方言の特ちょう

徳島の方言は、阿波弁とも言われています。阿波弁の特ちょうは、相手にやわらかく聞こえることです。阿波弁では、「ここでよう遊んだなあ。（ここでよく遊んだね。）」「おもしろいものがようけあるもんなあ。（おもしろいものがたくさんあるからね。）」のような言い方をよく耳にします。これらの会話は、話を進めるときに、文の最後に「くなあ」と付けているので、やわらかい表現になっているのです。

また、徳島の方言には、「あばばい（まぶしい）」、「ようやあ（やつのこと）」などの言い方もあります。このように、やわらかいひびきをもった言葉が残っていることも、徳島の方言がやわらかく聞こえるもう一つの理由です。

※（ ）は、方言を共通語に直したものです。

一 里田さんのグループでは、【資料1】を読んで、徳島の方言について話し合っています。あとの【話し合いの一部】のAの中には、同じ言葉が入ります。Aの中に入る言葉を、【資料1】から選び、四字でぬき出しましょう。

--	--	--	--

二 【話し合いの一部】の **B** の中に入る言葉を、次の【条件】に合わせて書きましょう。

【条件】 ○ 本文中の言葉を使って書くこと。

○ 「それは、」につながるように、二十字以上、三十字以内で書くこと。

【話し合いの一部】

この資料には、徳島の方言の **A** が書かれているね。

そうだね。徳島の方言の **A** とは、相手にやわらかく聞こえることだね。

話を進めるときに文の最後に「くなあ」と付けるので、やわらかい表現げんになっているんだね。

相手にやわらかく聞こえる理由が、もう一つあるよ。それは、

B



※とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

それは、

20字

30字

解答

20

一 特ちょう

二 **例** やわらかいひびきをもった言葉が残っているからだね。
(同意可)